

Publisher's Review

パブリッシャーズ・レビュー

●東京大学出版会・白水社・みすず書房のPR紙●



みすず書房の本棚

[無料送付]

No.16 2015秋 (表示価格は税別です)

113-0033 東京都文京区本郷5-32-21 tel.03-3814-0131 http://www.msz.co.jp

民間人無差別大量殺戮と

「憂慮する」兵士たち

白井 洋子

ベトナム戦争終結から四〇年目の今年、アメリカ合衆国防総省のホームページは「ベトナム戦争五〇周年記念」として、ベトナム戦争従軍兵士とその家族に感謝し、栄誉を讃えるさまざまな企画の報告記事と写真で飾られた。そこでは四〇年前に敗北した戦争終結の歴史は何も語られていない。米政府は一九六五年を公式なベトナム戦争開始の年としている。その前年の六四年八月、米国は、トンキン湾事件への報復として北ベトナムを爆撃し、翌六五年二月以降、北ベトナムへの継続的な空爆作戦を展開した。三月には、米軍最初の地上戦闘部隊として海兵隊二個大隊三五〇〇人が沖繩の米軍基地からダナンに上陸、七月、同じく沖繩から発進した三〇機のB52がサイゴン南東地域を爆撃した。戦争のアメリカ化の始まりだった。本書はこのアメリカ化した戦争の実態を克

「民間人を殺害し、森の空き地や田んぼの排水路に死体の山を築いていたのは地上部隊だけではなかったのだ。ヘリコプターが襲いかかった村では、数え切れないほど多くの人が恐怖に駆られて走りだし、結局はM60機関銃の掃射に切り裂かれて命を落とした。ミライ事件をはるかにしのぐ大規模殺戮では、通例、重火器が用いられ、事務的に淡々と死体が量産されていった。(…)

それがこの戦争の本質であり、ベトナムをテーマとする数万冊の書籍にほとんど描かれてこなかった真の姿なのだ」

ベトナム戦争で民間人になされた戦争犯罪の驚くべき実態。アメリカ人はこれまで、ミライ(ソンミ村)虐殺のような残酷な事件は逸脱であ

明に描き出すことで、軍事大国アメリカがなぜベトナムで敗北したのかを浮かび上がらせる。

たという元隊員の証言もある。無差別大量虐殺が頻発したのは、この戦争が、米軍にとっては領土占領型の戦争ではなく、南の解放戦線勢力と北ベトナム兵力の殲滅と軍事力破壊を狙った消耗戦であったこと、そのため戦果として敵兵の死体勘定(ボデイ・カウント)が何より優先されたこと、解放戦線ゲリラ兵をあぶり出すために索敵殲滅作戦(サーチ・アンド・デストロイ)が実行され、動く生き物は子どもでも女性でもすべて攻撃対象となったことによる。

またまやらかした例外的な行為というようなものではなかった。その前年には、ソンミに近いソンベ溪谷で、タイガーフォースと呼ばれる高度に訓練された落下傘機動部隊四五名を含む部隊に七カ月に及ぶ集中的攻撃作戦が命じられた。ソンベ溪谷で何人の農民を殺したかは定かではないが、一カ月だけで二二〇人を殺害し

り、ごく例外的な出来事だったと教えられてきた。しかし現実には、あの戦争を通じてベトナムの非戦闘員に加えられた暴力は決して例外ではなく、むしろ、「動く者はすべて殺せ」という命令の下に遂行された、広汎かつ組織的な作戦だった。

このスपीディ・エクスプレス作戦の詳細については、同師団元軍曹から当時の陸軍参謀総長ウェストモランド将軍に宛てた内部告発があったこと、大量虐殺が起きた理由は軍指揮官による死体勘定達成への強いプレッシャーにあったという内容だった。告発の手紙には「憂慮する

たという元隊員の証言もある。無差別大量虐殺が頻発したのは、この戦争が、米軍にとっては領土占領型の戦争ではなく、南の解放戦線勢力と北ベトナム兵力の殲滅と軍事力破壊を狙った消耗戦であったこと、そのため戦果として敵兵の死体勘定(ボデイ・カウント)が何より優先されたこと、解放戦線ゲリラ兵をあぶり出すために索敵殲滅作戦(サーチ・アンド・デストロイ)が実行され、動く生き物は子どもでも女性でもすべて攻撃対象となったことによる。

ももちろん死体勘定には赤ん坊も女性も加えられた。ベトナムで米兵が直面したゲリラ戦とは、敵が誰だかわらないということである。女も子どもも老人も、みなベトナムかもしれないという恐怖が米兵を無差別殺戮へと駆り立てた。さらにアジア人の蔑称グークに込められた人種的偏見が残酷行為を加速した。

「非戦闘員への無差別大量殺戮は、一九六五年以降展開された戦争のアメリカ化がダナン周辺の人口密集地域への作戦を中心としていたことと深く関係していた。太平洋艦隊海軍軍司令官は言う。「ほんとうの戦争は、山のなかではなく、人のなかで戦われる……民衆にまぎれ込んだゲリラの組織網をたたくこと」と。この方針を南部デルタ地域で実施したのが、六八年一月から六九年五月にかけて展開されたスपीディ・エクスプレス作戦である。この作戦による第九歩兵師団隊員一人あたりの敵兵殺害率は、最高一三四にまで達した。一九六九年四月の国防総省統計によれば八個師団のうち第九歩兵師団だけでその殺害者数は全体の三分の一を占めたという。この地域には大量の枯れ葉剤が散布され、ナパーム弾が投下され、空爆と地上からの砲撃による敵兵死者数は後の調査で一万八九人と報告された。

「ミライ虐殺もその他の民間人無差別虐殺事件も、「憂慮する」米兵たちの良心によって暴かれてきた。事件真相の内部告発は命がけだった。実際、何度も命を狙われた兵士もいる。戦争犯罪につながる数百件の事例の告発を、軍は記録に残してもいい。しかしほとんどが隠されたままだった。著者は、無数の民間人大量虐殺事件の中でミライ事件だけに焦点が当てられてきた背景に、ミライ虐殺を例外的な出来事に仕立て上げようとした軍の意図が働いていたことを見抜く。ミライを残酷行為の象徴とすることでこの戦争が米軍による無数の民間人無差別大量虐殺の繰り返しであったことを見えなくしていると言う。米国はベトナムでなぜ敗北したか。本書はその答えを、「憂慮する」兵士たちの良心と勇気の連鎖とともに、読者に改めて思い知らせてくれている。

「ミライ虐殺もその他の民間人無差別虐殺事件も、「憂慮する」米兵たちの良心によって暴かれてきた。事件真相の内部告発は命がけだった。実際、何度も命を狙われた兵士もいる。戦争犯罪につながる数百件の事例の告発を、軍は記録に残してもいい。しかしほとんどが隠されたままだった。著者は、無数の民間人大量虐殺事件の中でミライ事件だけに焦点が当てられてきた背景に、ミライ虐殺を例外的な出来事に仕立て上げようとした軍の意図が働いていたことを見抜く。ミライを残酷行為の象徴とすることでこの戦争が米軍による無数の民間人無差別大量虐殺の繰り返しであったことを見えなくしていると言う。米国はベトナムでなぜ敗北したか。本書はその答えを、「憂慮する」兵士たちの良心と勇気の連鎖とともに、読者に改めて思い知らせてくれている。

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

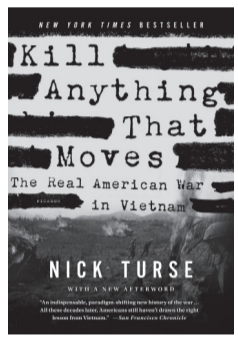
これが戦争の本質。真の姿。

ニック・ターズ

《動くものはすべて殺せ》

アメリカ兵はベトナムで何をしたか》

布施由紀子訳



「民間人を殺害し、森の空き地や田んぼの排水路に死体の山を築いていたのは地上部隊だけではなかったのだ。ヘリコプターが襲いかかった村では、数え切れないほど多くの人が恐怖に駆られて走りだし、結局はM60機関銃の掃射に切り裂かれて命を落とした。ミライ事件をはるかにしのぐ大規模殺戮では、通例、重火器が用いられ、事務的に淡々と死体が量産されていった。(…)

それがこの戦争の本質であり、ベトナムをテーマとする数万冊の書籍にほとんど描かれてこなかった真の姿なのだ」

それがこの戦争の本質であり、ベトナムをテーマとする数万冊の書籍にほとんど描かれてこなかった真の姿なのだ」



海兵隊員がベトナム人の「小屋」に火をかける

「送付先変更は、お名前・新住所・旧住所・帯封コードをご連絡下さい。」

知的財産の保護は創意工夫をむしる阻害する?...

「死への不安を取りのぞく」GD・ボラージョ

コピーと創造性は共生できる

カル・ラウスティアラ/クリストファー・スプリグマン

「(1)トレンドと流行はいくつかの創造的産業で大きな役割を果たす...

「種の起原」解説書の決定版 D・N・レスニック

「治療結果の真実に迫る挑戦的作品」R・A・スクイズ

「21世紀に読む」種の起原

「20世紀を語る音楽」の著者によるベストエッセイ集

「失われてゆく」我々の内なる細菌

「最後の詩集」長田弘

「論理学研究」新装版

「死への不安を取りのぞく」GD・ボラージョ

「負債国家と市民社会の力関係」W・シュトレック

「経済指標の意味とは?」ダイアン・コイル

「種の起原」解説書の決定版 D・N・レスニック

「治療結果の真実に迫る挑戦的作品」R・A・スクイズ

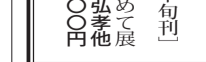
「21世紀に読む」種の起原

「20世紀を語る音楽」の著者によるベストエッセイ集

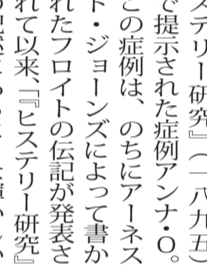
「失われてゆく」我々の内なる細菌

「最後の詩集」長田弘

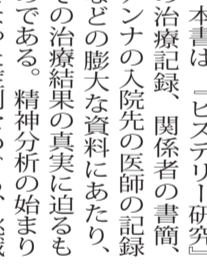
「論理学研究」新装版



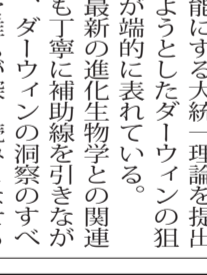
江戸時代の遺伝学が生んだ変化アサガオ



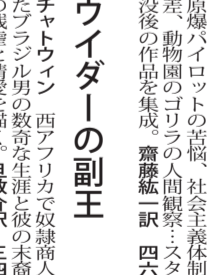
「種の起原」解説書の決定版



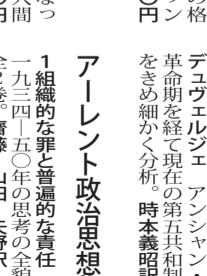
「治療結果の真実に迫る挑戦的作品」



「21世紀に読む」種の起原



「20世紀を語る音楽」の著者による



「失われてゆく」我々の内なる細菌



「最後の詩集」長田弘



「論理学研究」新装版

書評コラム

「いまこそ憲法を語る言葉を吟味せよ」
樋口陽一「日本国憲法」まつとつに
議論するために「改訂新版」



著者

日本を代表する憲法学者によるシャープな憲法解説。いま憲法を論ずるための本格的入門書として最適の一冊で、大きなうねりの中の数々の疑問への回答があるはず。昨今の情勢を見すえ、相当量の改訂を施した。今回、多忙な著者が四項目を新規に書き下ろしている。■政権交代■決める政治■二〇一二年自民改憲案の日本社会像■天賦人權説に基づく規定振りの排除。最新状況をふまえた新しい「あとがき」も付いた。高校生をはじめ若い人たちが

「いまこそ憲法を語る言葉を吟味せよ」

アイランドにトマス・マッカーシーという詩人がいて、政治や選挙について詩を書くことで知られている。あるとき、そういう主題でなぜ書くのか本人に尋ねてみたところ、父親がアイランド共和党の運動員だったせいで、投票所や選挙の現場の空気が私にも染みこんでいる。私にとって選挙ポスターやプラカードは、「花々と似ているし、同じように美しい」。だからそれらを詩に書くのだ、と話してくれた。

栩木伸明

W・フィーヴァー
《イングランド炭鉱町の画家たち》
乾由紀子訳
を読む



イングランド炭鉱町の画家たち

リヴァー・キルボーンが、よく似た話を語っていたからだ。彼は、故郷の川と谷が「自分を風景画家にした」と言ったジョン・コンスタブルを引き合いに出して、「コンスタブルのように故郷に留まったおかげで、ア

が立ち上がった。これに違くない。『イングランド炭鉱町の画家たち』には一九三四年から約四十年間、アシントンで活動した日曜画家たちの作品がカラー図版で多数おさめられているが、見れば見るほど欲しくなっ

シントンの家を地下の坑内作業を描くいい画家にしてくれたと思いたい」と述懐する。詩人にしろ、画家にしろ、身の内に染みこんだ経験と向き合うときにこそ、独自の創造力にあふれた表現

て困る。作業する鉱夫、休憩する鉱夫、洗濯や引っ越しや給料日や、坑内事故や坑内馬の死を描いた作品にまで、不思議な陶酔感と解放感が宿っているのだ。手に置いて一緒に暮らしたくなってくるのだ。

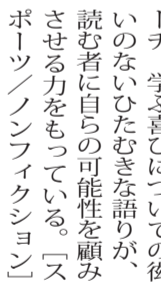


イングランド炭鉱町の画家たち

語り上手のキルボーンが魅力の秘密を教えてください。鉱夫は決して「労働に虐げられた存在」ではなく、「掘り出す鉱夫は掘るのが幸せ、運搬夫は運搬夫でそれに応えるのが幸せ。すべて自分の身の丈でやっていく」。その実感を画家たちは描こうとしたのだよ。これらの絵には、生きるために必要なしごとを丸ごと楽しんでいくひとびとが住んでいるわけだ。耳を澄ますと、「そつちはどうだい？ 君なら経験をどう表現する？ 人生はつらいかい？」とぼくたちに問いかける声が聞こえてくる。(とちぎ・のぶあき アイランド文学)▽フィーヴァー『イングランド炭鉱町の画家たち』(二面下広告)

自己最高のパフォーマンスを引き出す

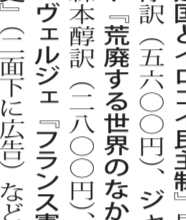
ジョッシュ・ウェイツキン
《習得への情熱—チェスから武術へ—》
上達するための、僕の意識的学習法
吉田俊太郎訳



習得への情熱

著者は六年ほどでこの格闘技の世界チャンピオンになり、ブラジリアン柔術でも瞬く間に黒帯の実力者になってしまった。本書はことほど左様に物事に熟達するのが得意であると自他ともに認める彼が、長年練り上げてきた上達術をも明かす本なのである。ハイレベルの競技者が直面する心理的課題は競技によらず驚くほど共通していると著者は言う。彼の方法論は他の競技に応用できるのももちろん、生活の中で誰もが経験するアップダウンへの対応力を磨くヒントにもなる。何より、学びへの開かれたアプローチ、学ぶ喜びについての銜いのないひたむきな語り、読む者に自らの可能性を顧みさせる力をもっている。「スポーツ/ノンフィクション」(四六判・312頁・三〇〇〇円)

鋭敏な思考で問題提起。ドゥブレ/樋口陽一/三浦信孝/水林章『思想としての(共和)』—日本のデモクラシーのために—(三二〇〇円)。「民主主義の名におけるファシズム」ほか講演・座談。『丸山眞男語文集 続3』(五〇〇〇円)。また、井出孫六『すぎざれない過去』(二八〇〇円)。(二面下に広告) など。



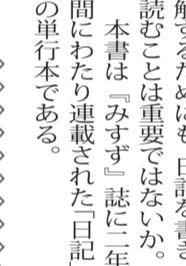
日本のデモクラシー

まず知る、そして考えるために 関連書のご案内
鏡敏な思考で問題提起。ドゥブレ/樋口陽一/三浦信孝/水林章『思想としての(共和)』—日本のデモクラシーのために—(三二〇〇円)。「民主主義の名におけるファシズム」ほか講演・座談。『丸山眞男語文集 続3』(五〇〇〇円)。また、井出孫六『すぎざれない過去』(二八〇〇円)。(二面下に広告) など。



日本のデモクラシー

「政治思想・エッセイ」(四六判・336頁・二八〇〇円)
『著者既刊「可視化された帝国」増補版』(三六〇〇円)



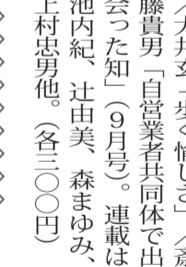
日本のデモクラシー

政治学者として、大学人として
原武史「潮目の予兆」
日記 2013.4-2015.3



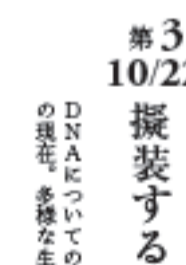
日本のデモクラシー

「毎週日曜日の午後十一時からNHKで放映される韓国ドラマ「トンイ」を必ず見てみる。その第11回が終わった瞬間、日付が変わり、四月一日となった。今日から日記をつけることにした。竹内好は五十一歳のときから、『みず』に日記を連載し始めた。私も五十歳。六〇年代という時代状況の中で書かれたその「日記」は、竹内好が自覚的に選り取ったスタイルであることに著者は気づく。たとえ身辺雑記であれ、後の時代を生きた者にとつても、みずから近過去を整理するために、日記を書き読むことは重要ではないか。本書は『みず』誌に二年間にわたり連載された「日記」の単行本である。



日本のデモクラシー

酒井啓子「若者は「砂漠」を目指す」最近号より
国家の横暴が目にする時代、大学人・作家として多忙な日々をこなすなか、政治学者として世の動向を分析し、皇室の動きを観察し、鉄道旅行をつづけ、麵類を食す。日常生活を記しながらも、そこから個人レベルであれ、社会や国家のことであれ、微妙な変化の兆しを読み取ることができらる。著者の新たな試みを「味読」ください。



日本のデモクラシー

「政治思想・エッセイ」(四六判・336頁・二八〇〇円)
『著者既刊「可視化された帝国」増補版』(三六〇〇円)



日本のデモクラシー

池内紀(ドイツ文学)
本と出会いと仕事場と
山本太郎(国際保健)
戦いから共生へ
太田邦史(分子生物学)
擬装するDNA
富田玲子(建築家)
建築オノマトペ
最相葉月(ノンフィクションライター)
共に病みうる人間として



日本のデモクラシー

池内紀(ドイツ文学)
本と出会いと仕事場と
山本太郎(国際保健)
戦いから共生へ
太田邦史(分子生物学)
擬装するDNA
富田玲子(建築家)
建築オノマトペ
最相葉月(ノンフィクションライター)
共に病みうる人間として

Misuzu 秋の連続夜話 全5回

富田玲子(建築家)
建築オノマトペ
最相葉月(ノンフィクションライター)
共に病みうる人間として

歌と鉄道を入口に語る日本の150年

松村洋 著 《日本鉄道歌謡史》

明治から現在まで、日本の歌謡曲、ポップス、唱歌などの中から、鉄道が歌われた歌を約50曲ピックアップし、鉄道ソングから日本の近現代史を読み解いた。鉄道は人びとの暮らしを変え、社会を変えた。では、何がどう変わったのか。鉄道は近代国家日本の建設と、人びとの生活の近代化を推し進める強力な要因だったとされる。ならば、鉄道の姿を通して、この国の人びとが体験した近代化の諸相を探ることが可能なはずだ。多くの

- 1 鉄道開業と第二次世界大戦
- 2 戦後復興と東日本大震災
- 3 戦後復興と鉄道
- 4 戦争と鉄道
- 5 故郷と鉄道
- 6 別れと鉄道
- 7 道という記号
- 8 さよなら
- 9 あとがき
- 10 以下のような歌が取り上げられています。

「収録歌」 以下のような歌が取り上げられています。鉄道唱歌(東海道編)／復興節／東京行進曲／西銀座駅前／あの上野駅／津軽海峡・冬景色／池上線／なごり雪

「目次」第1巻 はじめに
I 鉄道という異物 II 鉄道の旅 III 都市を行く電車
①四六判・288頁・三八〇〇円
②四六判・336頁・四二〇〇円

建築家ロースの名著、初の完訳

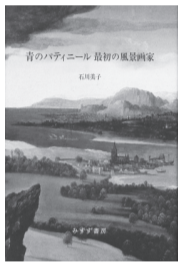
アドルフ・ロース 著
鈴木二一・中谷礼仁監修 加藤淳訳

「時代に合った手工業を、そして時代に合った日用品を求め、音楽、料理、テニスマナーにいたるまで——二十世紀初期の巨匠として広く認められながらも、そのような歴史的理解をはるかに逸脱した謎でありつづける建築家アドルフ・ロースの名著、初の全訳である。」

都市・建築のみならず、家具、工芸品、ファッション、音楽、料理、テニスマナーにいたるまで——二十世紀初期の巨匠として広く認められながらも、そのような歴史的理解をはるかに逸脱した謎でありつづける建築家アドルフ・ロースの名著、初の全訳である。近現代建築宣言の先駆として名高い「装飾と犯罪」をはじめ、「ミヒャエル広場の建物に関するふたつの主張」とひとつの付言「現代の公団住宅について」『建築』『他なるもの』より「郷土芸術」「家具の終焉」「ペーター・アルテンベルクとの別れ」「アノルト・シェーンベルクと同時代人」ほか全31篇(本邦初訳14篇)。

「風景画の誕生」展
Bunkamura 日本初公開
驚くほど精緻に描きこまれた細部、ブルーのグラデーションの中に「風景」の概念を創出した16世紀ネーデルラントの画家、パティニールの作品が、「ウィーン美術史美術館所蔵 風景画の誕生」展で初めて日本にやってきました。9月9日(水)〜12月7日(月) Bunkamura ザ・ミュージアム(東京・渋谷)ののち、静岡県立美術館、石橋美術館(福岡)に巡回。

好評既刊 石川美子『青のバイニール 最初の風景画家』(五〇〇〇円)



秋は全5回の「連続夜話」を企画。幅広いジャンルからみずず書房にゆかりの深い講演者をお招きします。著書書のほんの一部をご紹介します。池内紀『消えた国 追われた人々』池内紀の仕事場全8巻、山本太郎訳のペバン『エイズの起源』プレイザン『失われてゆく、我々の内なる細菌』太田邦史『自己変革するDNA』富田玲子『小さな建築』、最相葉月『セラピスト』(新潮社)など。三冊下をぜひごらんください。

基本図書 限定復刊

10月

法社会学の基礎理論

エーリッヒ 法状況の変化にもかわらず生き続ける、法社会学の古典的名著の完訳。河上倫逸／フーブリット訳 ¥7200

現代精神医学の概念

サリヴァン 精神医学は対人関係の学である——積極的精神療法を行った著者の名を知らしめた名著。中井・山口訳 ¥6200

ロスコ 芸術家のリアリティ 美術論集

M・ロスコ その芸術が転換点を迎える時期に書かれた幻の草稿。C・ロスコ編 中林和雄訳 ¥5600

シャルロット・ペリアン自伝

名作家具を世に送り、日本の建築工芸界と交流したデザイナーの生涯。北代美和子訳 ¥5400

メタフィジカル・クラブ

米国100年の精神史
メナンド 南北戦争に始まる米国の根幹プラグマティズムを巡る。野口・那須・石井訳 ¥6500



ミヒャエル広場に建つ建築 (1911年)

「建築」(九月下旬刊) (A5判・336頁・四八〇〇円)

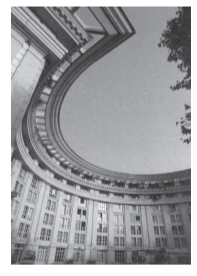
みずず書房 近刊のお知らせ

10-12月の刊行予定のなかからいくつか選んでご紹介します

- 拜啓 市長さま、図書館の話をしましょう アントネッラ・アンニオリ 萱野有美訳 想像力の時制 文化研究II R.ウィリアムズ 川端康雄編訳
 - ルシアン・フロイドとの朝食 ジョーディ・グリーン 小山・宮本訳
 - 国境なき医師団 レネ・フォックス 坂川雅子訳
 - 集合住宅30講 植田実 クツェー 世界文学論集 田尻芳樹訳
 - 哲学への権利 2 J.デリダ 立花・津崎・西山・馬場他訳
 - 小尾俊人の戦後 宮田昇
 - アメリカとアメリカ人 W. C.ウィリアムズ 富山英俊訳
- (http://www.mszz.co.jp にもご案内)

みずず 美術カレンダー 2016

のご案内



二〇一六年版は、特集「世界の集合住宅」(写真・植田実)をお届けします。小社より今秋刊行予定の植田実『集合住宅30講』に掲載される写真からのセレクション。伝説的雑誌「都市住宅」以来、半世紀近く現役編集長を務める著者が、『集合住宅物語』(小社)『アパートメント』(平凡社)以後に綴った第三弾。十九世紀末以降の内外の集合住宅に種々の切り口で迫る本書に収録された写真の中からユニークな建物の特集します。カレンダーはハガキ大、七葉にポストカード一枚付き、ペーパーケース入、卓上用です。ご希望の方は、一部六八円(税込)と送料八二円、計七〇〇円分の切手を同封のうえ、みずず書房営業部(〒113-0033 文京区本郷5-32-21)までお申し込みください。複数のご購入については営業部(電話03-384-0131)までお問い合わせください。(十月中旬発売予定)

みずず書房 営業部だより

七月、東京国際ブックフェアが無事に終了しました。ご来場いただきましたお客様に深く感謝申し上げます。今年は土曜が最終日だったため、来場しにくいというご意見が事務局に多数寄せられたそうです。それを受けて、来年は日曜を最終日とし、日程も七月の梅雨の時期から九月へと変更される予定です。

長田弘『長田弘全詩集』、『最後の詩集』が好調です。本

年五月に逝去されましたが、私たちに残された詩は読者を魅了し続けていくことでしょう。あらためてご冥福をお祈りいたします。

森まゆみ『森のなかのスタジアム』、『樋口陽一』、『日本国憲法』 まっとうに議論するために、『改訂新版』を緊急出版いたします。いずれも「まさに今」という書籍です。時勢に合った出版物の刊行は出版社の役目であり、醍醐味でもあります。書店店頭にてお手にとつていただければ幸いです。

みずず書房・最近の重版より

- 長田弘全詩集 ¥6000
- 長田弘 最後の詩集 ¥1800
- 昨日の世界 1 S.ツヴァイク 原田義人訳 ¥3200
- 活動的生 H.アーレント 森 一郎訳 ¥6500
- 全体主義の起原 3——全体主義 H.アーレント 大久保和郎・大島かおり訳 ¥4800
- 認識問題 1——近代の哲学と科学における E.カッシーラー 須田・宮武・村岡訳 ¥8800
- 美徳なき時代 A.マッキンタイア 篠崎 榮訳 ¥5500
- 失われてゆく、我々の内なる細菌 M. J. プレイザー 山本太郎訳 ¥3200
- ツンドラ・サバイバル 服部文祥 ¥2400
- 汝の目を信じよ!——統一ドイツ美術紀行 徐 京植 ¥3500